

第2回修学院糖尿病カンファレンス

於：アピカルイン(松ヶ崎)

平成26年11月15日

第2回修学院糖尿病カンファランス

運営 先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、下記の通り講演会を企画させて頂きました。
ご多忙中とは存じますがご参加賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。敬白

記

2014年11月15日(土) 13:00-15:30

アピカルイン 「桂の間」

京都府京都市左京区松ヶ崎小竹藪町3-3

075-722-7711

開会の辞 八田内科医院 院長 八田告先生

学術講演 「DPP4阻害剤のエビデンスと有用性」 武田薬品 三木 晋澄

一般講演 座長 日本バプテスト病院 米田絢子先生

1. エキセナチド投与+チーム医療で
様々な症状が劇的に改善した一例

演者 八田内科医院 八田 告先生

2. ご紹介いただいた糖尿病患者への指導状況(仮)

演者 日本バプテスト病院 看護部
糖尿病療養指導師 勝山 由香 先生

グループワーク 司会 日本バプテスト病院 米田 絢子 先生
八田内科医院 院長 八田 告 先生

テーマ：糖尿病患者に対する
最適な治療方針を考える

開会の辞 八田内科医院 八田一郎先生

～当日は軽食をご用意しております～

主催：武田薬品工業株式会社







平成26年11月16日

第2回修学院糖尿病カンファレンスに参加して

八田内科医院 理事長・院長 八田 告

朝晩の冷え込みが厳しい季節となりましたが、今年の紅葉が特に綺麗に感じるのは私だけでしょうか。さて先日は、第2回修学院糖尿病カンファレンスにご参加いただき有難うございました。このカンファレンスは日本バプテスト病院と八田内科医院、関連薬局との合同カンファレンスとして発足し、今回で第2回を迎えました。

一般演題では、身近な症例を通じて学んだこと、また問題点を共有することが出来ました。病院や診療所が何を考え、どのように患者さんと向き合っているかということ、多職種で議論でき大変参考になりました。週一回のGLP1製剤が奏功した患者さんに関しては、第一回目のカンファレンスがヒントとなるなど、今後活かせる情報交換の場になっていると実感しました。今後も退院後の患者さんの報告も兼ねて、双方の情報交換の場として活用できればと思いました。

今回初めてグループワークを導入しました。参加型のカンファレンスのほうが面白いだろうと考え準備を進めましたが、如何でしたか？ グループワークの目的はいろいろありますが、今回のワークの一番の成果は、指導方法には様々な考え方や着目点があり、それを共有できたことだったのではないのでしょうか？ ありふれた症例ながら、皆さんの想像力は大きく膨らみ、それぞれに62歳女性をイメージしながら指導方法を模索されていましたね。バプテスト病院の糖尿病専門医の米田先生や栄養士さん、専門看護師さん達の指導方法などを学ぶ絶好の機会だったと思います。大変な接戦の中でグループ4が最優秀賞に選ばれましたが、各グループの発表はどれも素晴らしく、甲乙つけがたいものでした。熱心に議論いただいた皆さんに御礼申し上げます。この修学院糖尿病カンファレンスは、一郎先生が挨拶時に言われたように、米田先生をはじめ、バプテスト病院の皆さんに直接色々なことを教えて頂ける、大変贅沢な会だと思っています。このような貴重な機会を通して、よりよい糖尿病診療・看護が地域に根付いていくことを祈念しています。今後のグループワークに関しては、皆さんのご意見をお聞きした上で、第3回のカンファレンスにも行う方向で考えていますのでどうぞご期待ください。

次回のカンファレンスは2015年11月に開催予定です。紅葉の綺麗な武田農園での開催を考えています。また来年もどうぞ足を運んで頂きますようよろしくお願いします。末筆ながらご参加頂いた皆様のご健勝を祈念しております。